

受付番号第6号、質問議員11番、堀口恵一。

件名、地域創成拠点としての山北駅周辺整備の推進を。

「山北町第2期人口ビジョン・総合戦略」が本年3月に町から出ている。コロナ禍の下で、事業がなかなか進まないところであるが、コロナ禍でも展開できること、コロナ禍後の展開を考えること、コロナ禍がずっと続いていてもできる方策を考えることなどが必要なところである。

山北駅周辺ということで考えると、山北町全体の顔であり、外から来た人はそこを見て町全体をイメージするものだと思う。今まで小さな拠点づくりとしてカフェ、コンビニ事業などへの支援、また、ふるさと交流センターの整備もされてきたところである。駅を中心に考えれば、健康福祉センター、生涯学習センター、役場庁舎、こども園、D52のある鉄道公園、銀行などがまとまったエリアに点在しているわけである。今後は体育館跡地に新たな多目的体育施設も予定されていて、一つの回遊エリアとしてみるができる。この一つの回遊エリアを地域創成拠点として認識してはと思い質問する。

1、山北に来た人が、ここが山北の地域創成拠点だと思えるような演出が必要だと考える。山北町全体には、魅力的な自然、魅力的な事業、魅力的なライフスタイルは点在しているが、駅及び駅周辺にその魅力を連想させる、または連携させる機能が不十分なように思う。そこで駅周辺回遊エリアを地域創成拠点として認識し、町内広域に点在する町の魅力を連想させる、または連携させる機能（例えば、駅周辺にある空き店舗を展示スペースとして活用し、それぞれを町内観光のブースとするなど）を増やしてはと考えるがどうか。

2、D52延伸事業計画はあるものの25メートルではインパクトがないのではないかと思える。クラウドファンディングなどで、山北駅舎側線路敷地をJRより買い取り、駅舎から山北町商工会館付近までを新しい鉄道公園にすれば180メートルくらいにはなる。この考えはどうか。

3、一つの回遊エリアとしてまとめるには「歩きたくなるような歩道」が重要と考えられるが、以下のような整備を進めてはどうか。

①駅周辺エリアの電線地中化（電柱は残すタイプ）。

②駅周辺の歩道の有効幅を狭くしているフラワーボックスの撤去。

③駅周辺の歩道路面を耐久性がありきれいなブロックに改修（小山町など参考）。

④駅周辺の回遊歩道のバリアフリー化。

⑤跨線橋の階段白華（エフロッセンス）の除去など。

4. 地域創成拠点として「来たくなるような駅」を以下のように進めてはどうか。

①駅横にある回らない縦型風力発電街灯の必要性の確認。

②駅横に電気自動車充電設備の設置。

③駅構内の草刈りの徹底をJRに要望。

④駅自体のバリアフリー化、コンパクト化のJRへの継続要望。

以上。

議 長 答弁願います。

町長。

町 長 それでは、堀口恵一議員から、「地域創成拠点としての山北駅周辺整備の推進を」についての御質問をいただきました。

初めに、1点目の御質問の「駅周辺回遊エリアを地域創成拠点として認識し、町内広域に点在する町の魅力を連想させる、または連携させる機能を増やしてはと考えるがどうか」についてであります。山北駅周辺では、ふるさと交流センターにおいて、町観光協会が観光案内のために常駐するとともに、鉄道資料館の開館を通じて、鉄道の町として栄えた山北町をPRしております。

また、山北駅周辺の魅力を高める取組としては、「山北駅周辺魅力づくり推進事業」を展開し、商工会等と連携を図り、山北駅周辺のにぎわいを創出するために、夕市の開催や朝市の開催、空き店舗を利用した木彫品の創作活動などを支援しております。

この事業では、平成21年度から計48回の意見交換会を実施しており、商店主や専門家とも山北駅前の魅力づくりについて意見交換を継続しております。

御質問の町内に点在する町の魅力を連想させる、または連携させる機能を増やすことについては、この意見交換会等においても提起し、関係団体や周辺の民間事業者とも情報等を共有しながら、要望があった場合には、全力で

支援してまいります。

次に、2点目の御質問の「D52延伸事業計画はあるものの25メートルではインパクトがないのではないかと思える。クラウドファンディングなどで、山北駅舎側線路敷地をJRより買い取り、駅舎から山北町商工会館付近までを新しい鉄道公園にすれば180メートルくらいにはなる。この考えはどうか」についてであります。D52については、平成28年に動態化に成功し、町のイベントや定期点検等において運行してまいりましたが、軌道上の可動領域が12メートル程度しかないため、熟練の運転士の確保が課題となっております。このため、町では、整備運行を委託している鉄道文化協議会群馬支部や鉄道保存会などの関係者と調整を図り、高度な技術がなくても運転できるよう、第一段階として、鉄道公園敷地内において、現状の軌道敷を後方延伸したいと考えております。

なお、D52がJRから本町へ無償譲渡された際に締結した契約に「JR敷地内での走行はできないものとする」という条項があるため、基本的にD52を走行させるためにJR用地を買収することは、非常に困難であります。

次に、3点目の御質問の「一つの回遊エリアとしてまとめるには『歩きたくなるような歩道』が重要と考えられるが、以下のような整備を進めてはどうか」について、1番目の御質問の「駅周辺エリアの電線地中化」についてであります。電線地中化は、歩行者はもちろんベビーカーや車椅子も移動しやすい安全で快適な歩行空間を確保する手法として有効であると認識しており、共同溝方式、単独地中化方式、要請者負担方式等様々な方法が検討できると思います。

一方で、電線等を地中化するに当たっては、コストの面などの課題も多く、国土交通省の試算では、共同溝を設置する場合、1キロあたり5.3億円の費用がかかると見込まれており、国からの交付金を活用しても、町の負担は3.5億円程度必要となるため、現実的ではありません。

また、御提案の電柱を残すタイプとした場合、地震や台風等の災害時に電柱倒壊の危険性が残り、倒壊から地域の安全を守るという電線地中化の大前提が崩れてしまいますので、電柱は撤去する方向で検討することが適切であると考えております。

次に、2番目の御質問の「駅周辺の歩道の有効幅を狭くしているフラワーボックスの撤去」についてであります。このフラワーボックスは、住民等からの要望により設置したものであり、歩道の幅が狭くなってしまう弊害はあるものの、住民から撤去の要望もありませんので、現状のまま存置し、歩行者に四季折々の花のよさを感じていただきたいと考えております。

次に、3番目の御質問の「駅周辺の歩道路面を耐久性があるきれいなブロックに改修」についてであります。きれいなブロックとは、インターロッキング舗装のことと思いますが、町内にもインターロッキング舗装を施工している歩道は数か所あります。こうした歩道の特徴としては、通常の歩道に比べて景観面で優れているため、歩行者が気持ちよく歩くことができ、さらに周辺環境と一体となった良好な景観が創出されることです。しかし、設置には多額の費用がかかるため、町の財政負担は大きいものとなりますので、今回御提案のエリアにおいて、歩道路面を早期に改修することは考えておりません。

次に、4番目の御質問の「駅周辺の回遊歩道のバリアフリー化」についてであります。周辺の自治会からも同様の要望がございましたので、今後、可能な箇所から段階的に改修し、車椅子などでも利用しやすい歩道となるようバリアフリー化を進めてまいります。

次に、5番目の質問の「跨線橋の階段白華（エフロレッセンス）の除去」についてであります。エフロレッセンスは、セメント中の水酸化カルシウムが溶け出し、炭酸カルシウムとなることで発生します。この炭酸カルシウム自体はコンクリートの品質を阻害するものではないため、これまで経過観察しておりましたが、多く発生してしまう箇所については、景観上も好ましくありませんので除去してまいります。

なお、現在の技術では、エフロレッセンスの発生を完全に防止することは困難であるため、根本的な解決はできませんが、排水をたまりにくくするなどの対応で、新たな発生の防止対策を実施していきたいと考えております。

次に、4点目の「地域創成拠点として『来たくなるような駅』を以下のように進めてはどうか」について、1番目の御質問の「駅横にある回らない縦型風力発電街灯の必要性の確認」についてであります。山北駅北側に設置

している「太陽光・風力併用型ハイブリッド街灯」は「山北町環境基本条例」の基本方針に基づき、「太陽光エネルギー等の自然エネルギー導入の促進」を具現化するため、平成16年度に設置した太陽光と風力を併せた複合的な発電設備であります。

当時は、最新設備でしたが、既に設置から15年以上が経過し、発電効率や安定した電力供給等については、現在の技術と比較するとかなり見劣りする部分もありますので、この設備の必要性等について、調査していきたいと考えております。

次に、②番目の御質問の「駅横に電気自動車充電設備の設置」についてありますが、町内では、充電施設が設置されているのは、東名高速道路鮎沢パーキングエリア上り線、道の駅山北、中川温泉信玄館の3か所であり、道の駅山北への設置については、日本充電インフラ株式会社から町に設置協力の申出があったため、官民協働による低炭素社会の実現に向けた取組の一つとして設置したものであります。

電気自動車充電施設など再生可能エネルギーを活用した交通インフラ等については、商業施設や観光施設など人が集まる場所や観光客の利便性も含めて検討する必要がある、環境・交通・災害・地理的な面など総合的に判断し、整備する必要があると考えております。

次に、③番目の御質問の「駅構内の草刈りの徹底をJRに要望」についてありますが、御殿場線内の草刈りの実施については、私が副会長をしております御殿場線利活用推進協議会から要望しているほか、沿線住民の方から要望があった場合は、JR東海へその都度連絡し、対応していただいております。現状では、駅構内における草刈りの実施については、利用者や住民の方などから要望を受けておりませんが、今後、草などが生い茂り利用者にも不便がかかるような状況が確認されるようであれば、JR東海へ草刈りの実施を強く要望してまいります。

次に、④番目の御質問の「駅自体のバリアフリー化、コンパクト化のJRへの継続要望」についてありますが、駅施設のバリアフリー化などについては、御殿場線利活用推進協議会及び神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、継続的にJR東海に要望しております。

本年度もバリアフリー化されていない駅施設の整備については、引き続き、強く要望してまいります。

議 長 議席番号11番、堀口恵一議員。

11 番 堀 口 1 番の絡みですが、ここで示しましたエリアを地域創生拠点として認識することについて、どう考えるか、もともと考えているということなんだと思うんですけど、再確認になりますが、よろしく願いいたします。

議 長 町長。

町 長 1 番目の地域創生拠点というようなお考えですけども、私としては、これからスマートインターができるところが山北の玄関口になるんだというふうに思っておりますので、そちらのほうに重点的に整備していきたいというふうに考えております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 そのスマートインターの話もあるんですが、向原、岸地区の充実に比べて、他地区が後回しになっているのではないかという意見を聞いてるんですけど、それについては、どう考えてますでしょうか。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、どうしても今、人口減少の中で、東山北1000計画というのが、何というんですか、今、山北町にとりましては、喫緊の課題ということで力を入れさせていただいております。本来、均等に財政を使えばいいんですけども、やはり今の山北町の情勢からしますと、やはり、せっかく、例えば小田百やクリエイトを持ってきたけども、このままにしておけば、当然、それが撤退してしまうというようなことが考えられます。大変、ほかの地区の方には、若干の御迷惑をかけますけども、優先的にしばらくの間この東山北1000のほうに力を注いでいきたいというふうに思っておりますので、その辺は理解をしていただければというふうに思っております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 2 番目の質問ですが、25メートルではインパクトがないのではと思えるということで、それに対して、現状では軌道敷を後方延伸25メートルだと思うんですが、それから、あと、JRとの契約でJR敷地内での走行はできないものとするという条項とありますが、まず、距離が短いと乗車指定運賃取っ

て何かちょっとやるという場をつくることも距離的にできない、かなり、いわゆるインスタ映えみたいなものが撮れる部分が変わりがなくて、インパクトがないのではないかということと、あと、J R敷地内での走行はできないというのは、私が書いたのは敷地内ではなくて買い取ってしまうわけですから敷地内ではなくなるわけですね。ですから、その敷地内での走行ではなくなるんだと思うんですけど、その2点についてお願いいたします。

議 長

町長。

町

長

D52の無償状態したときに、そういったようなJ R東海さんのほうから、一切合切J R東海の敷地の中ではやってほしくないというようなことで承諾しておりますので、そういった意味では買取りについても不可能とは思いませんけども、しかし現実的ではないなというふうに考えております。御殿場線利活用の中で、よく冗談ですけども、小田急さんに買い取ってもらえないかとか、あるいはJ R東日本はどうだとか、あるいは近隣の自治体で買収はできないかというような冗談ではいきますけども、もう全く相手にされませんので、そういった意味では、本当に冗談の中でのお話ですから、具体的にはそういったことは考えないというふうに私は思っております。

議

長

堀口恵一議員。

11 番 堀

口

冗談ではなくて、このJ R東海さんに打診したことはないということでしょうか。

議

長

町長。

町

長

打診をしたこともないですけど、要するに全体的な話からすると、金額があまりにもべらぼうで、そういった意味では出すべき数字ではないなというふうに私のほうは認識しております。

議

長

堀口恵一議員。

11 番 堀

口

3番目の歩きたくなるような歩道の中のフラワーボックスの撤去についてですが、要望もないということで、そうなっているということですが、実際にかかなり狭い場所もあって、機能上問題があるんじゃないかと思うんですが、実際に地元の方に調査といたしますか、聞き取りとかはされたことありますでしょうか。

議

長

都市整備課長。

都市整備課長 聞き取りのほうはしたことはございませんけども、確かに、議員さんおっしゃられるように、もともとの幅員が、今でこそ標準的な幅員というのは歩道ですと2メートル確保するようなことでなっておりますけども、当時から狭いような状況で、ただ、プランターボックスに関しましては、駅前商店街の緑化ということで、町の緑の基本計画にもうたわれてる内容でございますので、近隣からも撤去してくれというお話もございませんので、引き続き設置しておきたいのと、以前は何もぼさぼさのような状況だったんですが、

二、三年前からシルバーさんのほうにお願いしまして、花の管理も行っておりますので、引き続き、こちらのほうは設置した状態でやっていきたいと思っております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 個別の話は、それぞれ理由があろうかと思えますけれども、もう全体的に歩きたくなるような歩道ということでは、そういう方向に持っていくという考えについてはどうでしょうか。

議 長 都市整備課長。

都市整備課長 この駅前周辺に関しまして言いますと、北側に関しましては、平成十五、六年ですかね、インターロッキングやったりとか、ゴムチップ舗装ですか、お店屋さんの前あたりは歩道としては整備してございます。それと、南側です、わかば園舎側につきましても、以前は鉄平石、ごつごつしていた鉄平石を貼ってあったと思うんですが、それも走行性がよくないということで、豆砂利舗装という形に変えさせていただいておりますので、当面、この駅周り、周辺については、歩道のほう改修する予定はございません。ただ、あまりにも劣化したりとかした場合には、早急に対応したいと思っております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 最低でも見栄えをよくするために高圧洗浄できれいにするとか、そういう考えはないでしょうか。

議 長 都市整備課長。

都市整備課長 今の御質問は、エフロレッセンスの絡みの件でしょうか。それとも……。

11 番 堀 口 歩道自体、普通のコンクリートの部分が黒くなっている部分も含んでです。

都市整備課長　　今のところ、掃除云々という話、考えてはございません。あまりに、そういった要望とか、見た目にもあまりにもひどいようでしたら、ちょっと対応したいとは思っております。

議　　長　　堀口恵一議員。

11 番 堀　口　　町長、はっきり言いまして、見た目かなりひどい状況だと私は思ってまして、その辺の認識はどうでしょうか。

議　　長　　町長。

町　　長　　要望があるところについては、私も現地調査しましたが、バリアフリーにするというようなことで対応させていただきますけども、特に地域要望の中で、そういったような順番にやってほしいというような程度のことですから、そういうようなことでやっていきたいというふうに思っております。

議　　長　　堀口恵一議員。

11 番 堀　口　　先ほど、このエリアを地域創生拠点としては認識してないという話でしたんで話がつながらなくなってしまいうんですが。いや、本当にそれでいいのかなという感じがあるんですけど、駅前のお話からいいますと、郵便局のATMを駅前に設置してほしいとか、駅前に向原、岸ぐらいのスーパーがあればとか、ちょっとそんな話もありますんですけども、基本的に、今の現状維持ぐらいの感覚ということでよろしいでしょうか。

議　　長　　町長。

町　　長　　現状維持というか、当然使い勝手の悪い、あるいはまた危険なところについては、改修させていただきますけども、山北町、御案内のように、地域要望の中で、6つの連合自治会の中から要望いただいている中を、できるだけ財政の負担を軽減しながら進めてまいりたいというふうに思っておりますので、その中で山北駅前についても同じように要望があったところについては、今回もやらせていただくというような考えでございます。

議　　長　　堀口恵一議員。

11 番 堀　口　　町の総合戦略には、小さな拠点づくりということであるんですけども、あくまでも小さな拠点ということで終わりということで、地域創生拠点としては、スマートインター中心に考えていくということよろしいでしょうか。

- 議 長 町長。
- 町 長 やはり、今回スマートインターができるということと、それから、コロナ
というような条件が加わりました。そういう中で、柔軟に、今山北町にでき
ることを考えていくと、やはり重点的にかけていくことは、まずスマートイ
ンターの周りを駅の玄関口として地域の皆さんに認識していただくというよ
うなことが大事ではないかというふうに思ってます。それ以外にもJRの駅
は3つありますので、東山北、山北駅、谷峨駅についても、それなりに、や
はり対応していきたいというふうに思っております。
- 議 長 堀口恵一議員。
- 11 番 堀 口 かなり山北の人は、駅というのを主体に考えている人も、結構多いんじや
ないかと思うんですが、拠点スマートインターだということですので、ち
ょっと期待外れなんですけれども、あとは、地域の努力で復活させるとか、
頑張るといような感じになりますでしょうか。
- 議 長 町長。
- 町 長 山北駅周辺については、私になってから駅前のPFIによりますサンライ
ズの建設、そして、前の町長るときには、南側の福祉センター等がございま
す。また今後、体育館の建て直しというようなことで、今計画しております
し、全体的に山北駅周辺についても、こども園の地区であったり、様々なこ
とをさせていただいておりますので、そういう中についての、例えば、駅周
辺のいろいろな回遊性であるとか、そういったものについては、やはり地域
の商工会とか何かの意見を聞きながら進めてまいりたいというふうに思っ
ておりますので、一方的に町の考えで、駅周辺をいろいろなことに変えてい
くというようなことは、今のところは考えておりません。
- 議 長 堀口恵一議員。
- 11 番 堀 口 回答の中でも、中には前向きなものも入ってますので、体育施設も予定さ
れているということですので、それに関連して整備していくということによ
ろしいでしょうか。
- 議 長 町長。
- 町 長 体育施設についても、地域の皆さんと話し合いながら急がずに進めており
ますので、決して地域の皆さんが防災上、あるいは、またいろいろな施設と

して使いやすいような、そんなようなことを考えておりますので、それらの付随としての様々なものについては、要望として、聞いて進めさせていただきたいというふうに思っております。

議 長 堀口恵一議員。

11 番 堀 口 ちよっと人口も減る中ちよっと心配だったんで、撤退したということではなくて体育館含めできるところを整備していくということ、まあ、それぐらいの感じだということによろしいのでしょうか。

議 長 発言が不明確ですので、多分答弁のしようがないと思うんですね。明確にポイントを突いて、御質問はしていただければ大変ありがたいと思います。

それと、声のほうも、皆さんにお聞きづらいと思いますので、その辺もよろしくお願ひしたいと思います。

堀口恵一議員。

11 番 堀 口 とにかく何らかの整備はしていくということで理解しましたので、これで質問を終わりたいと思います。